

平成30年度風水害夜間実動訓練  
【平成30年6月16日(土)実施】

報告書

平成30年9月

大阪府危機管理室(災害対策課)

## 目 次

1. 訓練目的及び概要 . . . P. 1
2. 各市町の訓練内容 . . . P. 2
3. 事前広報状況 . . . P. 7
4. 今回の訓練の検証及び今後の対応 . . . P. 8

## 1. 訓練目的及び概要

### (1) 訓練の目的

平成26年8月、広島市で夜間に発生した土砂災害を教訓として、府域の土砂災害危険箇所などにおける夜間の集中豪雨を想定して、大阪府と6市町が共同で夜間における風水害訓練を実施することにより、夜間の住民避難に関する課題を抽出し、より円滑な住民避難や応急災害対策への反映を図るとともに、府民が自らの身を守る行動の促進や意識の向上を図る。

### (2) 実施日時

平成30年6月16日(土) 20:00~21:00

### (3) 参加機関

大阪府;危機管理室

都市整備部事業管理室、

富田林土木事務所、鳳土木事務所、岸和田土木事務所

市町村;岸和田市、泉大津市、貝塚市、和泉市、河南町

消 防;泉大津市消防本部、和泉市消防団第3分団

警 察;和泉警察署警備課、和泉警察署南松尾駐在所、和泉警察署内田駐在所

住 民;当該市町の地域住民

情報伝達訓練対象者 約108,000人

うち 実動訓練参加予定者 241人

(泉大津市 10人、和泉市 101人、河南町 130人)

### (4) 気象想定

13:00 大阪府に大雨・洪水注意報 発表

17:00 大阪府に大雨警報(土砂災害、浸水害)及び洪水警報発表

19:30 大雨に関する大阪府気象情報 第1号 今後1時間に80ミリ程度の雨の予想

20:00 対象市町に「土砂災害警戒情報」発表 ⇒ 「避難勧告」発令

### (5) 訓練態様

ア) 大阪府と市町、防災関係機関との災害情報の伝達訓練

イ) 市町によるエリアメールや防災行政無線を活用した、市町による避難勧告に基づく住民避難(屋内での垂直避難も含む)

## 2. 各市町の訓練内容

### (1) 岸和田市

#### ①訓練概要

- ア) 大阪府と市、防災関係機関との災害情報の伝達訓練
  - ・大阪府(水防本部)から市役所に対して土砂災害警戒情報を発表
  - ・市内の二級河川(牛滝川・春木川・津田川)が氾濫危険水位に到達の恐れ
- イ) 市幹部職員を対象とした情報伝達訓練

#### ②情報伝達訓練対象者数

市幹部職員 約 250人

#### ③訓練シナリオ

- 20:00 「土砂災害警戒情報」発表
- 20:03 危機管理課から市幹部職員に対して、情報伝達メールの送信
- 20:30 訓練終了



【岸和田市危機管理課による訓練の様子】

## (2) 泉大津市

### ①訓練概要

ア) 消防隊員による施設職員を対象に訓練指導

- ・サービス付き高齢者向け住宅「ゆかりの郷 逢喜苑」の職員を対象に消防職員による事前訓練指導

イ) 施設職員及び市職員へ情報伝達訓練

- ・施設入居者の搬送を考慮したうえでの垂直避難実施

ウ) 市職員を対象とした情報伝達訓練

- ・市職員全員に参集メールを送信して、参集可能時間を集計

### ②情報伝達訓練対象者数

施設職員 10人

市職員 826人

### ③実動訓練参加者数

・垂直避難

施設職員 10人

### ④訓練シナリオ ※( )は想定時間

11:00(18:00)大津川・槇尾川・牛滝川に氾濫注意情報発表

12:00(19:00)大雨(土砂災害、浸水害)・洪水警報発表

15:00(21:30)大津川・槇尾川・牛滝川 避難判断水位に到達

⇒「避難準備・高齢者等避難開始」発令

16:00(22:00)大津川・槇尾川・牛滝川 氾濫危険水位に到達

⇒「避難勧告」発令

・施設職員による「垂直避難」の実施

(泉大津市消防本部職員による消防訓練指導)

・危機管理課から市職員に対して、情報伝達メールの送信

16:20

訓練終了



【消防隊員による事前訓練指導の様子】



【避難訓練の様子】

### (3) 貝塚市

#### ① 訓練概要

- ア) 大阪府と市、防災関係機関との災害情報の伝達訓練
  - ・大阪府(水防本部)から市役所に対して土砂災害警戒情報を発表
  - ・市内の二級河川(津田川・近木川・見出川)が氾濫危険水位に到達の恐れ
- イ) 市によるエリアメール／緊急速報メールを活用した避難勧告に基づく住民避難
  - ・市内全域にエリアメール／緊急速報メールによる住民への避難勧告
  - ・夜間住民避難訓練の実施
    - 全戸対象の垂直避難訓練

#### ② 情報伝達訓練対象者数

全市民 約 9万人

#### ③ 実動訓練参加者数

- ・垂直避難
- 住民が自主的に実施

#### ④ 訓練シナリオ

- 20:00 「土砂災害警戒情報」発表  
⇒「避難勧告」発令
- 20:03 市内全域約 9万人に避難勧告発令(エリアメール／緊急連絡メール)  
⇒「垂直避難」
- 20:30 訓練終了



【貝塚市危機管理課による訓練の様子】



【エリアメール受信画面】

#### (4) 和泉市

##### ①訓練概要

- ア) 大阪府と市、防災関係機関との災害情報の伝達訓練
- ・大阪府(水防本部)から市役所に対して土砂災害警戒情報を発表
  - ・和泉市より避難状況をO-DISにより報告。大阪府と情報共有を図る
- イ) 市による防災行政無線を活用した避難勧告に基づく住民避難
- ・春木町地区に防災行政無線による住民への避難勧告
  - ・避難所(春木町会館)の開設(模擬)
  - ・夜間住民避難訓練の実施
- 春木町地区会館への水平避難訓練

##### ②情報伝達訓練対象者数

春木町地区 住民 約 820人

##### ③実動訓練参加者数

- ・水平避難
- 春木町地区の住民 約70人

##### ④訓練シナリオ

- 20:00 「土砂災害警戒情報」発表  
⇒ 「避難勧告」発令  
春木町地区住民約820人に避難勧告発令(防災行政無線)  
⇒ 水平避難(春木町会館へ集合)
- 20:20 市役所(災害対策本部)に避難者数の報告
- 20:30 O-DIS により大阪府に避難状況の報告
- 21:00 訓練終了



【夜間住民避難訓練の様子】



【春木町地区会館内の様子】



## (5) 河南町

### ① 訓練概要

- ア) 大阪府と町、防災関係機関との災害情報の伝達訓練
  - ・大阪府(水防本部)から市役所に対して土砂災害警戒情報を発表
- イ) 町によるエリアメールや防災行政無線を活用した避難勧告に基づく住民避難
  - ・町内全域にエリアメール／緊急速報メール及び防災行政無線による住民への避難勧告
  - ・夜間住民避難訓練の実施
  - 全戸対象の垂直避難訓練

### ② 情報伝達訓練対象者数

全町民 約 1.6万人

### ③ 実動訓練参加者数

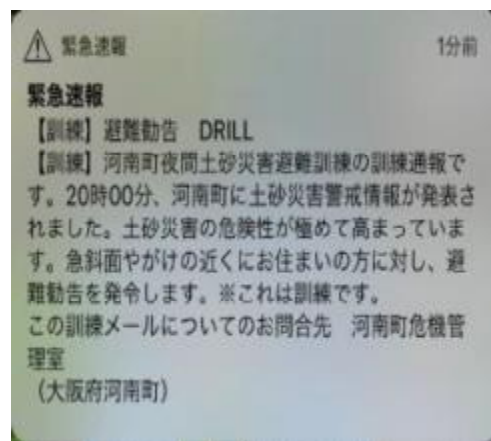
- ・垂直避難
- 5地区(大宝・河内・中・白木・石川地区)の住民 計100人が集会所での垂直避難を実施  
その他住民が自主的に実施

### ④ 訓練シナリオ

- 20:00 「土砂災害警戒情報」発表  
⇒ 「避難勧告」発令
- 20:03 町内全域約1.6万人に避難勧告発令(エリアメール／緊急連絡メール、防災行政無線)  
⇒ 集会所などにいる5地区(大宝・河内・中・白木・石川地区)の住民が垂直避難  
⇒ その他住民、自宅などで「垂直避難」
- 20:30 訓練終了



【垂直避難訓練の様子】



【エリアメール受信画面】



### 3. 事前広報状況

訓練の実施に先立ち、さまざまなツールを使って広報を行い、本訓練のPR・府民周知を行った。

(大阪府)

- ・府政だより(6月号)への掲載
- ・報道発表(6月13日(水)14:00)

(市町)

- ・広報紙、ホームページの掲載
- ・回覧等による住民周知
- ・防災行政無線での広報活動 など



【府政だより（6月号）】



【貝塚市のTwitterを活用した取組み】

#### 4. 今回の訓練検証及び今後の対応

##### ① 早期避難誘導及び垂直避難の推奨

夜間に大雨など災害の危険性が予測される場合は、日没までの時間帯にエリアメール／緊急速報メール、防災行政無線を活用し、「避難準備・高齢者等避難開始」を発令するなど、住民に対し早期の避難行動を呼びかける措置が重要である。

普段から指定避難所への避難だけでなく、山から離れた2階以上の高い所への「垂直避難」を行うという選択もあることを平時から徹底した上で、災害の危険予見時にそうした呼びかけも行うなど、住民が一定の時間的の余裕を持って、慌てることなく災害から身を守る行動を取るよう誘導する。

##### ② 住民意識の向上

府も引き続き市町村と共同して、風水害等に伴う様々な災害リスクを想定した訓練を行う必要があり、また、市町村においても、地域の実情に即した避難訓練や高齢者入居施設等の各施設に適した避難訓練の充実が重要である。

また、普段から避難場所や避難経路の確認、非常用持ち出し袋の準備をあらかじめ済ませておくなど、日頃から万一の深刻な災害発生時においても『命を守る』備えをしていただくことが大切である。